

フードバンクかながわ 通信



2022. 3

40号

「もったいない」を「わかちあい」・「ありがとう」へ

ただ今、フードドライブ食品の点検・仕分けのボランティアを募集しています。

JAさがみ様より冷凍コンテナ、精米機、自動計量機、石抜き機が寄贈されました。

精米機、自動計量機でほっと一安心！

食支援の要望の一位は「お米がほしい」です。行政・社協・地域のフードバンク・こども食堂等の支援団体にこれまで一日に最高800袋の小袋を作り提供しました。お米には賞味期限はありませんが、精米後は劣化するため、フードバンクかながわでは再精米し、利用者が持ち帰りやすいように1.5kgに小分けしています。精米機等は地域のフードバンクにもご利用頂いており、使用頻度は極めて高く「もし故障したら」という不安はいつもありました。JAさがみ様のご寄贈でお米の再精米・袋詰めにゆとりが持てることになりました。

冷凍食品提供にもチャレンジ！

冷凍食品の食品ロスのはかなりの量があると推測されていますが、温度管理が難しく取り扱えていませんでした。一方、冷凍食品は、栄養を得やすい、食卓が豊かになる、調理技術の無い人にも利用できるなどメリットも多く、フードバンクかながわでは、休眠預金助成を活用し、4月より徐々に冷凍食品の提供を進める予定です。冷凍コンテナのご寄贈で取り扱いに拍車がかかります。

JA共済様より30万円のご寄付！

あわせて本日JA共済連様より寄付金も提供されました。



贈呈式に臨む右より JAさがみ・宮崎専務、鈴木副組合長、西山組合長。フードバンクかながわ 常務共同代表・藤田事務局長



JAさがみ様寄贈の冷凍コンテナ設置



精米機・自動計量機・石抜き機



明治安田生命様フードドライブ



毎日産クリエティブサービス様 備蓄品 高橋社長・中井専務



箱根登山鉄道様米一合運動



クラダシ様災害備蓄



秦野市商工会議所様



仕分け作業風景パルシステム組合員の皆さん



2月は餅解体作業。鏡餅を解体。



湘南生活クラブ組合員リーダーのボランティア体験

フードドライブ品は賞味期限を点検し、計量し、仕分けることでご利用いただけます。作業は午前・午後2時間ずつ、マンパワーで行っています。ご協力をお願いします。



横浜市社協の区社協 配送便の食品を積み



秦野市フードマーケット 餅100kgを含む645kgを提供 648人が来所。なんといっても米が欲しい、正月の餅も欲しいという声がきかれた。



戸塚YMCAフードドライブ



平塚信金様フードドライブ16箱

相模原市上鶴間中学校のフードバンク学習会。米一合運動ポスター。



コロナ自宅療養者への食支援相模原市

コロナ自宅療養者が増え相模原市以外にも伊勢原市・逗子市・横須賀市などにも提供している。

お問い合わせ

公益社団 フードバンクかながわ info@fb-kanagawa.com 発行責任：藤田 誠
236-0051 横浜市金沢区富岡東2-4-45 TEL 045-349-5803

(2020年度実績 寄贈 210トﾝ・提供 194トﾝ)



合意書締結団体

寄贈締結団体 217団体
 提供締結団体 272団体
 行政・社協 57団体
 市民団体 215団体
 (子ども食堂・居場所・施設・福祉関係)

賛助会員寄付状況

団体会員203団体 646口
 646万円
 個人会員 291人1,467口
 1,467千円
 寄付
 2021年度16,323,072円
 累計 52,748,169円

基本情報 2021年度の累計 (2022/2/28現在計量済まで)

4~2月	寄贈食品計	240.9トﾝ	提供食品計	2439回	238.7トﾝ
	企業・生協等	159.8トﾝ	行政・社協	545回	46.1トﾝ
	フードドライブ	64.1トﾝ	地域フードバンク	493回	78.2トﾝ
	寄付金購入	17.0トﾝ	子ども食堂等	995回	76.5トﾝ
			支援施設等	49回	2.6トﾝ
		福祉・病院・外国	357回	35.3トﾝ	

食品回収拠点 約300か所

2月の状況 2/1~2/28 寄贈 32.0トﾝ 提供 31.0トﾝ

寄贈 32.0トﾝ

提供 151団体、239回、31.0トﾝ

団体別	寄贈重量	団体別	提供団体	提供回数	提供重量
企業・生協・JA等	22.2トﾝ	行政・社協	33団体	51回	6.9トﾝ
フードドライブ	7.8トﾝ	地域のフードバンク	28団体	51回	11.9トﾝ
寄付金購入	2.0トﾝ	子ども食堂等	68団体	108回	7.9トﾝ
		自立支援施設等	2団体	2回	0.3トﾝ
		福祉・病院・外国関係	20団体	27回	4.0トﾝ

寄贈

紙幅に限りがあり敬称略で報告します。

事業者寄贈

キリンビバレッジより飲料9トﾝ (計18トﾝ)、エバラ食品鍋つゆ3トﾝ、日生協よりインスタント味噌汁・パンミックス、日本食研たれ、昭和電工労組より米、ユーコープキャンセル品、ミツハシライス米。米2トﾝを寄付金で購入。

防災備蓄品

横浜市よりアルファ米クラッカー1.3トﾝ、藤沢市より白粥840kg、東京ガスよりアルファ米730kg、内田洋行よりα米・サバイバルパン、川崎労協レトルトごはん、旭化成労組レトルトごはん、相鉄カロリーメイト、中区役所、日産クリエイティブサービス、東京海上火災、東京ライフスタイル、JFE労組他

フードドライブ

ユーコープ80店舗、ナチュラルコープ横浜、相鉄ローゼン17店舗、ヨーカドー18店舗、無印良品38店舗、イオン2店舗、伊勢丹クイーンズ、中央労金、横浜銀行、県労協、パルシステムセンター、JA横浜、JAさがみ、県庁、戸塚YMCA、個人

米一合運動/プロジェクト

ユーコープ湘南第2エリア会、箱根登山鉄道。上鶴間中学校

提供

○行政・社協

区社協から緊急支援要請も来る。横浜市はくサボ1.3トﾝ、コロナ療養者支援相模原市470kg、学生支援相模原市2トﾝ、秦野市食支援200kg計645kg (内お餅100kg) ほか

○子ども食堂等

アフリカヘリティッジ、キッズカフェ杉田、Cocoloの会、ココドモン島、こどもすまいる食堂、なかよし大船子ども食堂、ともだちの家、ののみやこども食堂便、フリースペースたまりば、ぱくぱく食堂、ふれあいつつみつぎわ他6波となり食堂開催よりパントリー (食品提供) 実施団体が相変わらず多いと思われる。

○地域のフードバンク

報徳食品支援センター1.6トﾝ、川崎医療生協600kg、お福分けの会490kg、セカンドリーグ830kg、くろーばーマケット636kg、サロンドテ280kg、食支援ネット、FBふじさわ、さくらの木、ユナイテッドかながわ、フードコミュニティなど。FB浜っ子南は地域連携が進みFBかながわからの割合は1/2となったという。※FB:フードバンク

○福祉・病院・外国関係

団体としては20だが利用量は4トﾝ前後と多い。群馬県の外国につながるコミュニティで800人を支援するブラジルソリダリオ横浜が2.7トﾝ利用。

各々の団体は自分たちでリスクも分かち合いながら、行政サービスとは異なる自由な場・活動を作っていました。時には煮詰まったり、疲れてしまうこともある市民活動。他とつながることで励まされ、アイデアを得ることもできます。終了後、活動をさらに見たいと、交流する団体もありました。ポストコロナの時代だからこそ他者を配慮し仲間を増やし地域の未来を豊かにしていきたいと考える情報交換会でした。(荻原)

メッセージ 社会的課題の解決に向けて協働を

キリンビバレッジ(株)横浜支社 支社長 佐藤 栄二様



今回ご縁がありフードバンクかながわ様へ余剰在庫品を寄贈させていただきました。食品を必要としているお客様にお役立ちができてうれしく思います。

当社も食品メーカーとして製造ロスや在庫ロスの削減に向けてサプライチェーンマネジメントを強化しております。しかしながら、天候や社会状況による販売動向からやむを得ず余剰在庫品が発生する場合があります。

余剰在庫品が発生した際は、食品を必要としているお客様にお届けられるよう自治体やフードバンクへ寄贈支援に取り組み、食品ロス、エネルギー、貧困問題など社会的課題の解決に向けて協働してまいりたいと思います。



ソルティライイチ9トﾝ×2か月分計18トﾝをご寄贈頂きました。

メッセージ ユーコープ「米一合プロジェクト」を呼び掛けて

ユーコープ湘南第2エリア会 エリアコーディネーター 高橋 久美様



「フードバンクかながわ通信24号」で、藤田事務局長がお米の不足を訴えたことで、県労福協が「米一合運動」を展開された事を知りました。

各家庭で食べているお米の中から1合を、みんなが「助け合い」の気持ちで持ち寄るなら、大きな支援になるのではないかと思います。湘南2エリア会では近隣の3店舗と一緒に、米一合プロジェクトを開催し、8月に75kg、今年1月に92kgのお米が集まりました。

寄付して下さった方からは「お米が一番役に立つわよね」「米一合なら持ってきやすい」「子どもがお腹を空かしているなんて耐えられない」「誰でもできるボランティア」との意見も頂き、皆さんの優しさや思いやりの気持ちを強く感じています。

現在、横浜南1エリア、横浜南2エリア、横浜中1エリア、県央2エリアと他のエリア会へ取り組みが広がり、嬉しく思います。



米一合プロジェクトのぼりも作成。

2/23オンライン情報交換会 「地域の力を食支援に活用しよう」開催。



61名が参加。4つの事例が紹介された。フードバンクからは4月よりトライアル予定の冷凍食品計画を説明。

中学校でも「米一合運動」



裏面に学習会の写真があります。

相模原市上鶴間中学校でもPTAと生徒たちの活動を学校も支援し、米一合運動を展開しました。フードバンク藤田事務局長、PTA吉岡会長の学習会を事前に行い、有志の生徒がポスターをつくり広く呼び掛けたところ、40kgが持ちよられました。